

JICA 教師海外研修実践授業

パラグアイと日本の身近な課題から
みんなで作る より良い未来を考える
～SDGsの視点から～

独立行政法人国際協力機構(JICA)は、開発課題を自らの問題として捉え、主体的に考える力、またその根本解決に向けた取り組みに参加する力をもつ児童・生徒の育成を目的とした「教師海外研修」を実施しています。

国際理解教育・開発教育に関心を持つ教員を対象に、実際に開発途上国を訪問する研修を行うことで、開発途上国が置かれている現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深め、その成果を、学校現場での授業実践等に活かしていただいています。

今年度の教師海外研修参加者のひとりである、村上市立保内小学校の鈴木先生が、パラグアイ研修での経験を活かした授業実践を行います。授業では、水が出しっぱなしになっている蛇口、給食の食べ残し、プラスチックごみなどの子どもたちにとって身近なものから、環境や社会に関する課題を多角的にとらえることで、それぞれの問題が繋がりにあることを学び、みんなで作るよりよい未来について考えます。

ご多用の折恐縮ですが、当日の取材を是非ご検討ください。

(公開授業の日程)

【日時】 2019年11月21日(木) 13:30～14:15

【会場】 村上市立保内学校 5年1組教室

※恐れ入りますが、取材をご希望の場合は以下問合せ先へご一報ください。

【本件に関する問い合わせ先】

村上市立保内小学校 鈴木 航太

Email: j222109j@gmail.com

保内小学校TEL 0254-62-2302

JICA 新潟デスク／国際協力推進員 宮 由衣

Email: jicaniigatadesk@gmail.com

TEL 090-4024-1323